



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 フジッコ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2908 URL <http://www.fujicco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 正一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 奥平 武則

TEL 078-303-5921

四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日

配当支払開始予定日

平成29年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	30,448	4.0	2,302	4.6	2,479	5.5	1,668	0.6
29年3月期第2四半期	29,276	2.4	2,413	1.2	2,624	1.6	1,678	15.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,230百万円 (50.2%) 29年3月期第2四半期 1,484百万円 (14.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	55.83	55.76
29年3月期第2四半期	56.18	56.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	76,141	62,671	82.2
29年3月期	73,845	60,903	82.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 62,586百万円 29年3月期 60,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		17.00		18.00	35.00
30年3月期		18.00			
30年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,600	4.5	5,450	1.8	5,750	0.8	4,000	5.5	133.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	34,991,521 株	29年3月期	34,991,521 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	5,092,676 株	29年3月期	5,108,269 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	29,889,104 株	29年3月期2Q	29,872,791 株

(注)期末自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)導入において設定した資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式数が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式には、「株式給付信託(J-ESOP)導入において設定した資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀の経済・金融政策を背景に雇用環境や所得の改善が続くなど、緩やかな回復基調で推移しましたが、食品業界においては、消費者の根強い節約志向や価格競争の激化もあり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、当グループにおいては、中期3か年経営計画の2年目として、基幹事業である昆布・豆製品の収益力強化を行うとともに、成長事業である惣菜・ヨーグルト製品の競争力向上への取り組みを加速させました。また、「消費者志向自主宣言」の下、「お客様の生の声」を活かした製品開発やマーケティングに注力しました。

売上高は、惣菜製品、ヨーグルト製品、デザート製品が前年実績を大きく上回り、豆製品も伸長したことに加え、昆布製品も前年並みに推移したことから304億48百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

しかしながら、利益面では、売上原価率が上昇し、営業利益は23億2百万円（前年同四半期比4.6%減）、経常利益は24億79百万円（前年同四半期比5.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億68百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

製品分類別の販売状況は、次のとおりであります。

惣菜製品では、日配惣菜が引き続き伸長するとともに、包装惣菜では個食ニーズに対応した食べきりタイプ「おばんざい小鉢」シリーズに新商品「きんぴら」を追加し、販売エリアを地域限定から全国に拡大しました。その結果、惣菜製品全体の売上高は前年実績を大きく上回りました。

昆布製品では、佃煮はわずかに前年を下回りましたが、ドライ品群の専属販売組織の新設等により、販売活動を強化した塩こんぶが大きく伸長した結果、昆布製品全体の売上高は前年並みとなりました。

豆製品では、個食ニーズに対応した食べきりタイプの「おまめさん豆小鉢」シリーズが大きく伸長したことや、「そのままがおいしい蒸し大豆」など蒸し豆が著しく伸長したことから、豆製品全体の売上高は前年実績を上回る結果となりました。

ヨーグルト製品は、「カスピ海ヨーグルト」の特長のひとつである「ねばり」をテーマにしたTVCMを放映したことに加え、新しいマーケティング手法を取り入れた販売促進活動を展開し、ブランド価値の向上に取り組みました。その結果、ヨーグルト製品全体の売上高は前年実績を大きく上回りました。

デザート製品は、「フルーツセラピー」シリーズにおいて、発売から15周年を記念したリニューアルを実施し、主力品目の拡販に加え、期間限定商品「カラカラ&ブラッドオレンジ」を投入したことから、デザート製品の売上高は前年実績を大きく上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ22億96百万円増加し、761億41百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4億7百万円減少し、318億81百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品の減少によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ27億3百万円増加し、442億60百万円となりました。これは主に、和田山工場新工場棟建設に関連する建設仮勘定の増加によるものです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3億53百万円増加し、113億5百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億74百万円増加し、21億64百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ17億68百万円増加し、626億71百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の82.4%から82.2%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ19億30百万円減少し、137億5百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を24億37百万円計上したものの、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったことによる売上債権の増加等により、14億59百万円の収入（前年同四半期は23億53百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、和田山工場新工場棟建設に関連する有形固定資産の取得等により、31億52百万円の支出（前年同四半期は7億27百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増加等があったものの、配当金の支払等により、2億37百万円の支出（前年同四半期は4億59百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当グループを取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、当期の連結業績は概ね当初（平成29年3月期決算発表）の予想どおり推移すると見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,635	13,705
受取手形及び売掛金	8,713	10,456
商品及び製品	972	918
仕掛品	321	370
原材料及び貯蔵品	5,965	5,517
繰延税金資産	422	568
その他	261	348
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	32,288	31,881
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,080	32,946
減価償却累計額	△21,556	△21,680
建物及び構築物(純額)	11,524	11,265
機械装置及び運搬具	23,533	23,556
減価償却累計額	△16,092	△16,300
機械装置及び運搬具(純額)	7,441	7,255
工具、器具及び備品	1,855	1,891
減価償却累計額	△1,521	△1,562
工具、器具及び備品(純額)	334	328
土地	13,118	13,249
建設仮勘定	1,051	3,459
有形固定資産合計	33,469	35,559
無形固定資産		
ソフトウェア	165	169
その他	151	142
無形固定資産合計	317	311
投資その他の資産		
投資有価証券	6,365	7,055
繰延税金資産	67	13
その他	1,345	1,329
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	7,768	8,389
固定資産合計	41,556	44,260
資産合計	73,845	76,141

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,111	4,099
短期借入金	-	300
未払金	4,094	4,049
未払法人税等	1,024	974
未払消費税等	253	453
賞与引当金	601	490
預り金	145	239
その他	721	698
流動負債合計	10,952	11,305
固定負債		
長期末払金	337	273
繰延税金負債	501	728
退職給付に係る負債	1,094	1,108
従業員株式給付引当金	57	54
固定負債合計	1,989	2,164
負債合計	12,942	13,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	7,421	7,440
利益剰余金	52,136	53,265
自己株式	△7,009	△6,987
株主資本合計	59,115	60,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,867	2,416
退職給付に係る調整累計額	△127	△115
その他の包括利益累計額合計	1,739	2,301
新株予約権	48	85
純資産合計	60,903	62,671
負債純資産合計	73,845	76,141

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	29,276	30,448
売上原価	16,840	17,770
売上総利益	12,435	12,678
販売費及び一般管理費	10,022	10,375
営業利益	2,413	2,302
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	84	83
受取賃貸料	39	43
売電収入	28	30
事業譲渡益	52	-
その他	37	47
営業外収益合計	241	205
営業外費用		
支払利息	1	0
賃貸費用	16	13
売電費用	10	10
その他	2	3
営業外費用合計	30	28
経常利益	2,624	2,479
特別損失		
固定資産処分損	25	41
関係会社株式評価損	105	-
特別損失合計	130	41
税金等調整前四半期純利益	2,493	2,437
法人税、住民税及び事業税	918	880
法人税等調整額	△103	△111
法人税等合計	815	768
四半期純利益	1,678	1,668
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,678	1,668

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,678	1,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△206	549
退職給付に係る調整額	12	12
その他の包括利益合計	△193	561
四半期包括利益	1,484	2,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,484	2,230
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,493	2,437
減価償却費	1,030	1,109
株式報酬費用	80	75
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△92	△110
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	24	31
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	36	-
受取利息及び受取配当金	△84	△83
支払利息	1	0
関係会社株式評価損	105	-
固定資産処分損益(△は益)	13	41
売上債権の増減額(△は増加)	△434	△1,742
たな卸資産の増減額(△は増加)	221	452
仕入債務の増減額(△は減少)	263	5
未払金の増減額(△は減少)	△225	△35
未払消費税等の増減額(△は減少)	17	199
預り金の増減額(△は減少)	2	93
その他	△228	△279
小計	3,223	2,197
利息及び配当金の受取額	84	83
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△953	△819
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,353	1,459
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△656	△3,192
無形固定資産の取得による支出	△60	△49
投資有価証券の取得による支出	△7	△23
投資有価証券の売却による収入	-	121
その他	△2	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△727	△3,152
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300	300
長期借入金の返済による支出	△250	-
自己株式の売却による収入	0	2
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△509	△539
財務活動によるキャッシュ・フロー	△459	△237
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,165	△1,930
現金及び現金同等物の期首残高	13,643	15,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,809	13,705

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円)

製品情報	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		増減額	(参考) 前連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
惣菜製品	9,163	31.3%	9,677	31.8%	514	18,920	31.1%
昆布製品	8,188	28.0%	8,220	27.0%	31	17,516	28.8%
豆製品	6,196	21.2%	6,471	21.3%	275	13,702	22.5%
ヨーグルト製品	3,108	10.6%	3,299	10.8%	190	6,216	10.2%
デザート製品	1,976	6.7%	2,101	6.9%	125	3,177	5.2%
その他製品	642	2.2%	677	2.2%	35	1,328	2.2%
合計	29,276	100.0%	30,448	100.0%	1,172	60,860	100.0%

(注) 増減額は、当第2四半期連結累計期間と前第2四半期連結累計期間との比較で表示しております。